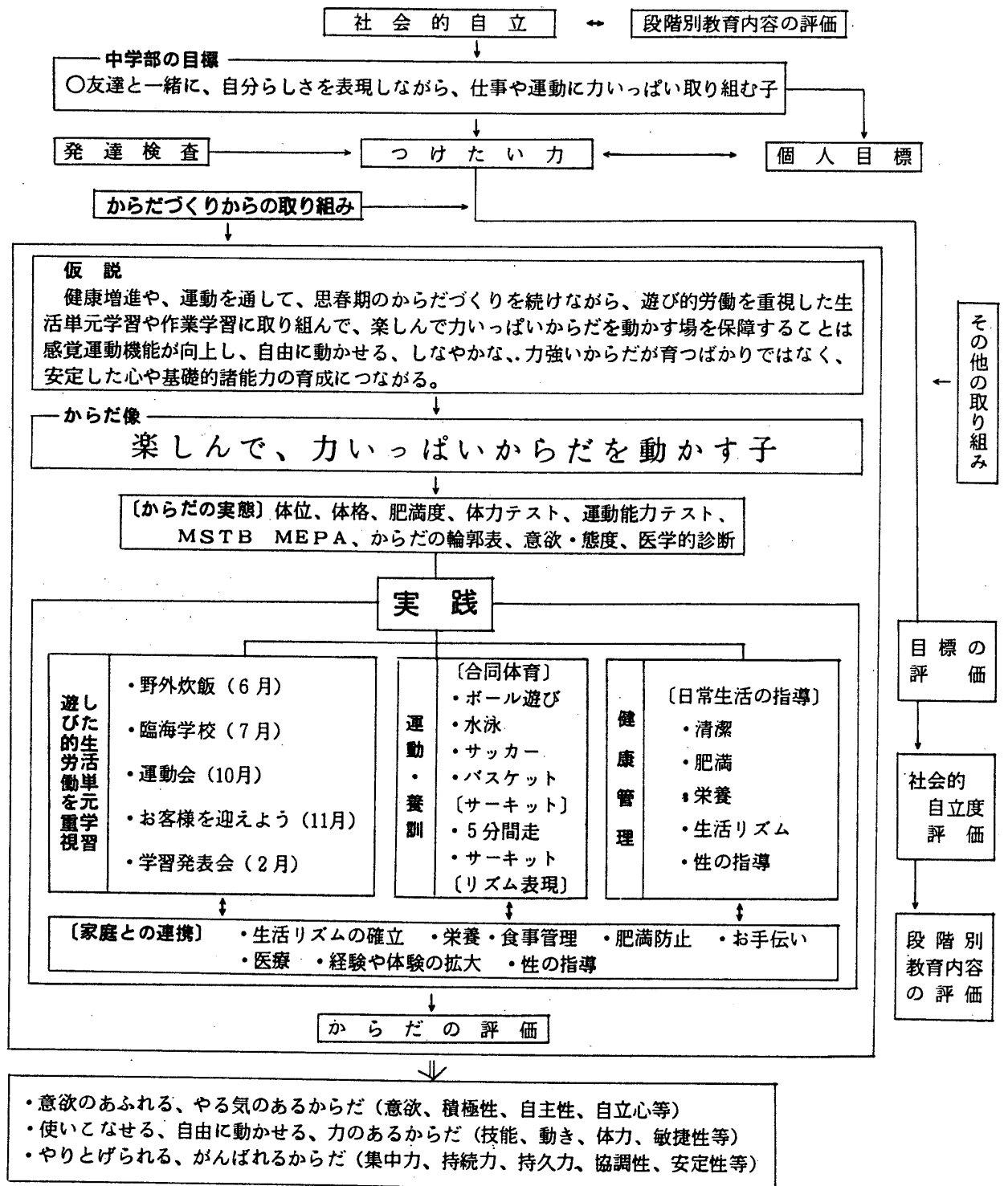


【2】 研究の構想図 図5



【3】 研究の経過と本年度の取り組みの方針

(1) 63年度（1年次）の取り組み

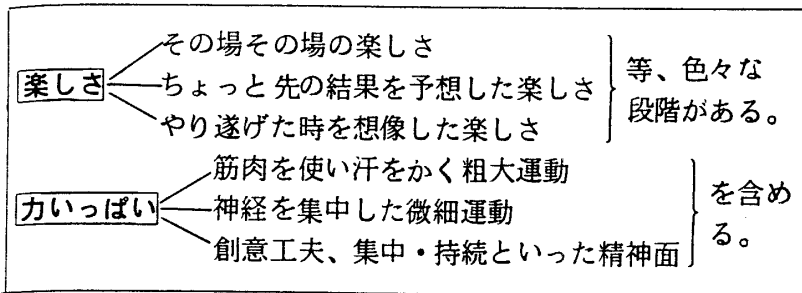
58年度から実践されていた「朝の活動・体力づくり」を引き継ぐ形で、上に示す研究の構想図（図5）の「運動・養訓」「健康管理」に重点的に取り組み、研究の基礎づくりをした。

(2) 平成元年度（2年次）の取り組み

① 研究仮説、研究構想の確立及び研究構想図の作成

② 学部のからだづくりテーマ「楽しんで力いっぱいからだを動かす子」の設定と共通理解

学部でテーマについて話し合う経過の中で次のことを共通理解し、生徒の姿を見つめていった。



真剣にはさみを使う、力いっぱい

③ からだづくりに視点を当てた教育課程の編成と

「遊び的労働を重視した生活単元学習」の実践

生活単元学習にからだづくりの場を広げ「遊び的労働を重視した生活単元学習」として実践を積み重ねると同時に、一人ひとりの「楽しんで力いっぱい……」の姿やそれを引き出す要因を探り、発達段階を参考に配列した一覧表を作り、指導や評価の手がかりとした。

④ からだづくりをめざしている具体的なからだを明確にし、評価のための試案作成

めざす、社会的自立の基盤となるからだとは「意欲・やる気のある」「自由に使いこなせる」「がんばれる」からだを共通理解し「意欲的姿の段階表」「からだの輪郭表」等の試案を作成した。

(3) 平成2年度（3年次）の取り組み

① からだづくりに視点を当てた教育課程に基いた授業づくりの実践

めざす授業（授業仮説）を「どの子どもも楽しんで意欲的に取り組む授業」「集団としての良さを大切にしながら個別化を図り、個の生きる授業」と共通理解し、より良い授業づくりを実践した。

② 生徒の実態に応じたリズム・サーキット運動の見直し・組み立ての改善に着手

MEPAの上位テストMSTBを採用し、その実態を参考にプログラム・評価の検討を開始した。

(4) 本年度（4年次）の取り組み

昨年度迄に、からだづくりに視点を当てた教育課程を編成し、その1時間1時間の授業づくりを工夫することによってからだづくりに迫ってきた。この実践は意欲的な取り組み、やる気や集中力、体力や技能の向上等、からだづくりの成果として多くの生徒にいろいろな形で表われ、発表した。

本年度は研究の最終年次に当たり、初年度からの取り組みを踏襲する中で、年間計画、単元づくり、題材、1時間の授業づくりと評価等を更に充実していくこととし、これ等をまとめて「授業づくりの更なる模索と評価の再検討」とし、具体的には次の様な取り組みをした。

① からだづくり、授業づくりに有効な単元や題材の更なる模索

② どの子ども「楽しんで力いっぱい活動できる、活動しきる」授業づくりの更なる工夫

③ からだづくり養訓（屋内、屋外サーキット、リズム表現）の組み立ての見直し、指導法（教師の動き）の工夫、評価表の作成

④ 健康管理の面から、からだや家庭生活に関する実態調査と家庭指導。健康管理への授業づくり